

堤防・護岸の修景に方向性を確認しました ～ 第3回 名勝木曾川の堤防整備に関する検討委員会 ～

資料8



堤防整備のイメージ図

Google Earth

堤防整備の必要性

各務原市鷺沼宝積寺町の木曾川河畔には堤防がなく、最近では令和3年8月に河川水が家屋敷地の高さに迫るなど、洪水被害の危険にさらされています。

このため、木曾川水系河川整備計画において堤防整備を行うこととしており、地元自治会からも早期の整備を望まれています。

現地の特徴

堤防整備の対象区間は、名勝木曾川に指定されるなど景観上の価値が高く、河畔の露岩は学術上の貴重な場ともなっています。

こうした特徴を極力損なわないよう、有識者と関係行政機関で構成する「名勝木曾川の堤防整備に関する検討委員会」を設置し、堤防の設計を進めています。

委員会の経緯

委員会はこれまで3回開催し、①現状と課題、②堤防・護岸整備の方向性、③堤防・護岸の修景について検討しました。

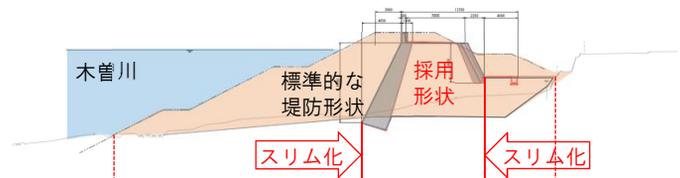


資料と議事要旨をWEBで公開しています。

https://www.cbr.mlit.go.jp/kisojyo/meisho_kentou/index.html

堤防・護岸の形状

堤防・護岸の形状は、河畔の露岩や背後の家屋敷地への影響を最小限とするため、コンクリート擁壁を河川側・家屋側ともに設置し、標準的なものよりも大幅にスリム化します。



堤防・護岸の修景

令和6年3月7日の第3回委員会では、河川側の修景について意見交換を行い、以下を確認しました。

- 擁壁の表面は、洗い出し処理でコンクリート内の骨材を表面に露出させ、明度を下げるとともに無機質感を緩和する
- 階段や坂路は、伝統的な玉石積みで壁面を被覆し、景観に変化をつける



洗い出し処理後の
コンクリート表面(例)



玉石積み(例)



【問合せ先】木曽川上流河川事務所 工務課 高木

所在地 〒500-8801 岐阜市忠節町5丁目1番地

電話 058(251)1324

FAX 058(206)0012